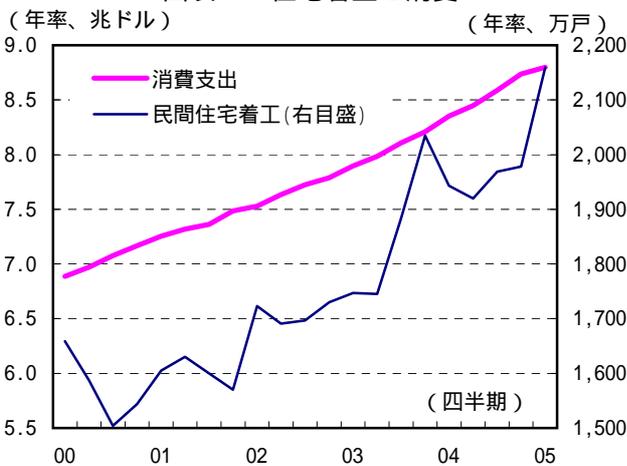




米国経済 - 消費・住宅堅調ながら、負債増加に懸念

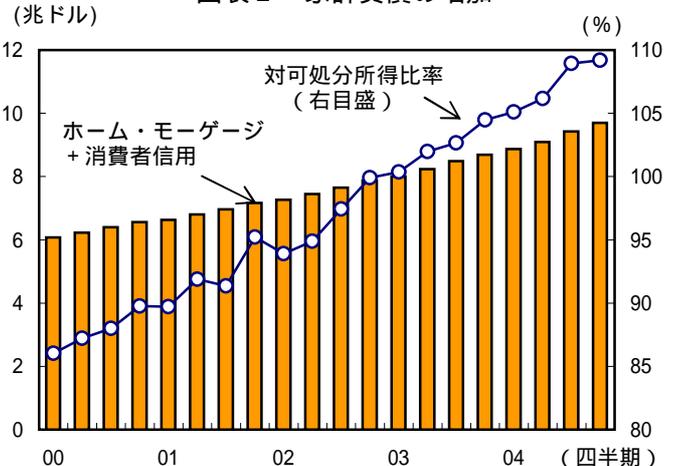
- ・消費は増加が続き、住宅投資も高水準を保っている。
- ・一方で、負債（ホーム・モーゲージ+消費者信用）は急激に増加しており、可処分所得の1.09倍にまで高まっている。
- ・負債の増加に加え、家計の資金不足が続いているものの、株価上昇等により金融純資産（金融資産 - 負債）の残高はむしろ増加している。また、住宅価格も上昇を続けており、担保価値の上昇を通じて家計の借入余力を増している。
- ・現在の米国の消費を支える要素として、こうした資産価格の上昇は大きく寄与しているが、引き締め政策が浸透してきた場合のショックに対して脆弱になっているとも言え、今後注視していく必要がある。

図表1 住宅着工と消費



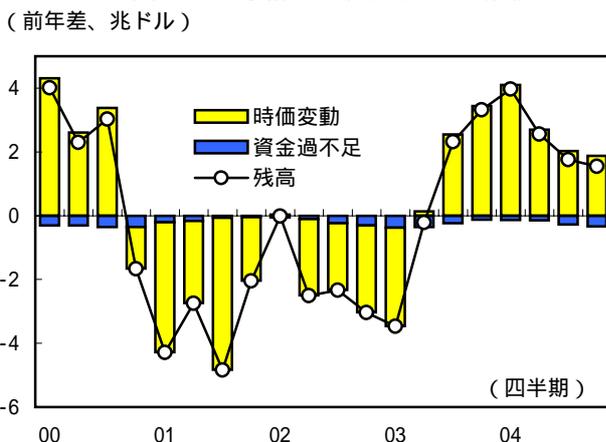
(備考) 1.米商務省(Census) "New Residential Construction"、米商務省(BEA) "Income and Outlays"により作成。
2.05年第1四半期の値は、05年1月の値を四半期換算。

図表2 家計負債の増加



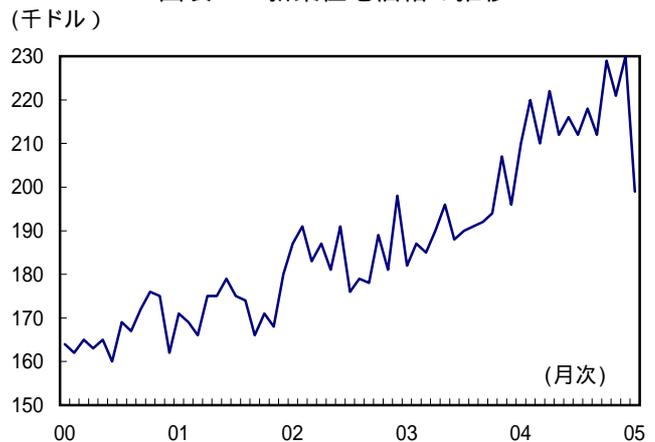
(備考) 米商務省 "Income and Outlays"、FRB "Flow of Funds Account" により作成。

図表3 家計の金融純資産の推移



(備考) FRB "Flow of Funds Account" により作成。

図表4 新築住宅価格の推移



(備考) 1.米商務省 "Housing Survey" により作成。
2.新築販売価格の中央値。

[調査部(経済調査担当) 加賀林 陽介]